**第８回中国高等学校新人水泳競技選手権大会（水球の部）実施に向けた感染拡大防止ガイドライン**

【主催者・施設管理者が実施すべき事項】

１.要項の準備について

（１）競技会要項・二次要項等で、感染拡大予防に関する下記の周知を行う。

入館前２週間において以下の事項に該当する場合は、参加の見合わせを求めること。

・平熱を超える発熱

・咳（せき）、のどの痛みなどの風邪の症状

・だるさ（倦怠感）息苦しさ（呼吸困難）

・臭覚や味覚の異常

・体が重たく感じる、疲れやすい等の症状

・新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無

・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合

・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合

（２）入場者の健康管理に関する「体調管理表」「大会当日の体調チェックシート」を、事前に記入できるよう準備する。

（３）「体調管理表」「大会当日の体調チェックシート」の管理方法・保管期間について確認する。

２.施設の準備、対応について

（１）入場・待機・受付時の対応

①選手控え場所として、屋外に各校１張ずつテントを準備する。

②「待機人数の削減」「人との距離を考慮した目印」「選手の入退場動線の明確化」等、密になる状況を避ける対策をとる。

③「マスクの着用」「大声での会話」「対面姿勢での会話」等について注意する。

④入場時に手指消毒液を使用させ、「大会当日の体調チェックシート」を確認し受理する。

⑤必要に応じて非接触体温計を使用して発熱者を特定し、入場を制限する。

⑥受付では、アクリル板・透明ビニールカーテン等を準備して対応する。

（２）更衣室・招集所等

①更衣室は１チームずつ利用できるように「選手の時間差入場」を行い、一度に入室する利用者の数を制限する措置をとる。白チームが男子更衣室、青チームが女子更衣室の利用を基本とする。

②更衣室のロッカーの使用は禁止とする。

③更衣室内は換気扇を常に回す、出入り口のドアは開放する等、換気に配慮する。

④招集場所は密閉された空間は避け、椅子の間隔を保ち、対面姿勢とならないように配置する。

⑤招集やウォーミングアップの待機時も、選手同士が密集しないように距離を保つ。

⑥招集にあたる審判、競技役員は必ずマスクを着用し、必要に応じてフェイスガードを使用するなど感染対策を講じる。接触による確認や握手、大きな声での挨拶は避ける。

⑦招集所では案内板等を活用し、競技役員の指示は必要最低限とする。

⑧室内またはスペース内で複数の入場者が触れると考えられる場所（ドアノブ・ロッカーの取手・テーブル・椅子等）については、こまめに消毒する。

（３）練習時の対応

①試合前のウォーミングアップは、当該試合のチームに限るなど、密集しない対策を講じる。

②唾や痰を吐くことは行わない。

③コーチの大声での指導、ホイッスルの使用、コーチ同士の会話を控えるよう周知する。

（４）競技開始および競技中の対応

①競技前の整列での選手紹介は行わない。

②ベンチは、監督、選手等が最低１ｍ以上間隔を開けて着席できるよう配置する。

③監督・スタッフはマスクを着用すること。競技規則通り、監督以外は不必要な発言を行なってはならない。

④インターバル中の指示は可能とするが、最低１ｍ以上の距離を保つこと。

⑤競技中の給水やタオルの使用等について、他の選手と共有を避けること。

⑥試合間のベンチ交代は行わない。

⑦試合終了後、ベンチを離れるチームがベンチをプールの水で洗い流すか、アルコール消毒液で清拭する。

⑧試合終了後は、それぞれのベンチの位置から互いに挨拶するなどして、集合して相手チームへ挨拶することは避ける。動線が混雑しないように速やかに退場する。

（５）選手控え場所、観客への対応

①選手控え場所として、屋外に各校１張ずつテントを準備する。

②無観客試合で行う。

（６）開会式・閉会式・表彰式について

①開会式・閉会式は行わない。

②各順位決定戦後に表彰を行う。

③カップ・賞状の贈呈はよいが握手は行わない。

３.競技役員について

（１）山口県内に在住する者で行う。

（２）監督が審判資格を有している場合は、審判員を兼任できるものとする。

（２）打ち合わせ事項については、メール連絡等で事前に周知する。

（３）当日の打ち合わせは必要最低限とし、掲示板等を活用する。

（４）注意事項については、競技役員控え場所に掲示する。

（５）競技役員椅子の配置（計時、記録、審判審査等）については、椅子の間隔を保つよう設置する。

（６）本部席の配置と仕切り（フェイスシールド・アクリル板・透明ビニールカーテン等）の対策をとる。

（７）競技役員交代時の待機は短時間とし、密とならないようにする。

（８）競技役員の交代時に、トランシーバー・ストップウオッチ・マイクなどの消毒を行う。

４. 新型コロナウイルス感染症が発症した場合の対応

（１）退場後２週間以内に新型コロナウイルス感染症が発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告するよう周知する。

【選手・監督・コーチが順守すべき事項】

１．大会前

（１）大会参加にあたり、あらかじめ選手の保護者から同意をいただくこと。

（２）入館前２週間において、以下の事項に該当する場合は、参加を見合わせること。

・平熱を超える発熱

・咳（せき）、のどの痛みなどの風邪の症状

・だるさ（倦怠感）息苦しさ（呼吸困難）

・臭覚や味覚の異常

・体が重たく感じる、疲れやすい等の症状

・新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無

・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合

・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合

（３）「体調管理表」「大会当日の体調チェックシート」に必要事項を記入し、主催者に提出すること。

（４）水泳用具・飲食物・ストレッチマット等は、専用の物を用意し共用しないこと。

（５）会場までの交通機関内で、マスクの着用、人との距離、座席間の距離、車内換気、会話などに留意すること。

２．水泳場内

（１）入館から退館時までの全ての場面で、人との距離（できるだけ２ｍ以上）をとって行動すること。

（２）練習時に待機する場合、プールサイドで並ぶ場合も距離を保つこと。

（３）選手控え場所は各チームに準備されたテントを利用し、人との距離・座席間の距離を保つこと。

（４）競技中以外は可能な限りマスクを着用すること。

（５）こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。

（６）更衣室の利用は主催者が示す「選手の時間差入場」に従うこと。白チームが男子更衣室、青チームが女子更衣室の利用を基本とする。

（７）更衣室のロッカーの使用は禁止とする。

（８）選手は、招集所での選手間の会話、競技後の選手間の会話を控えること。

（９）大きな声での会話や応援をしないこと。コーチは、練習時の大きな声での指示、ホイッスルの使用を控えること。

（10）唾や痰を吐くことは行わないこと。

（11）ドリンクの回し飲みはしないこと。

（12）ゴミは持ち帰ること。

（13）チームは、競技終了後、なるべく速やかに退館すること。

（14）ミーティング等については、三つの密を避けること。

３．新型コロナウイルス感染症が発症した場合の対応

（１）退場後２週間以内に新型コロナウイルス感染症が発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告するよう周知する。